

Library News

令和3年2月10日 Vol.8 湖南高等学校図書館

2月2日は節分でした。図書室前の掲示板に「立春の前日が節分になります」と説明書きを掲示しました。さて、みなさんは今年の立春がいつか、この説明書きから読み取れますか？



ちょっと難しい人にヒントです。「立春の前日が節分」ということは「節分の次の日が立春」ということです。答えは裏面に小さく書いてあります。

このように、文章を読み取る力を「読解力」といいます。ただ文章を読むのではなく、その文章に何が書かれているのか、正しく読み取れる人は多くないようです。では、読解力がないとどうなるのか。読解力がないと、人とコミュニケーションを取るのが難しくなります。相手との会話がなかなか噛み合わず、思わぬトラブルになることも。自分の身を守るためにも、読解力は必要になります。



本をずっと借りたままの人へ

Library News 12月号でもお知らせしましたが、再度連絡です。1学期・2学期からずっと本を借りたままの人がいます。「まだ読み終わっていない」という人は、一度返却手続きを行った後にまた貸出することが可能です。速やかに返却をお願いします。

新着図書案内

今回は絵本が多く入りました。絵本？絵本なんて幼稚園児が読むもの、高校生になって絵本とかダサい、と思っているそこの貴方！たかが絵本と侮ることなかれ。絵本は優しい気持ちや、ほっこりした気持ちにさせてくれます。

新着図書一覧は裏面にあります。



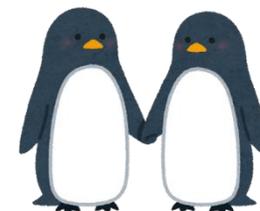
司書イチオシ本



『おともだちたべちゃった』ハイティ・マッキン

司書が一番おすすめする絵本です。題名通り、おともだちをたべちゃった主人公が、新しいおともだちを探しに出かけますが…。

かわいい絵とは裏腹なちょっとダークな雰囲気と、衝撃のラストがクセになる。隙間時間には是非！



『てぶくろ』うちだいさこ(訳)

ウクライナ民話が絵本になって登場。小さい頃に読んだ人も多いのではないのでしょうか。

森に落ちていた手袋に、多くの動物たちが住み着いて。え！狼も？！すでにギュウギュウな手袋に入るのかな…。



新着図書一覧

『CHOICE』 シオリーヌ

「性の話をもっと気軽にオープンに」をテーマに、助産師としての経験と知識を活かし、性の知識を YouTuber として若者に発信しているシオリーヌさん。そんなシオリーヌさんが、性にまつわる様々なことを分かりやすく解説。生理や射精などの体の仕組みから、性的同意やセクシュアリティなど、相手を慮ることについてなど。



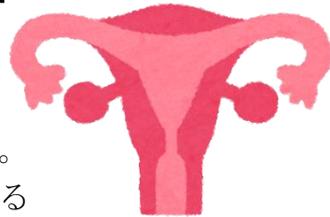
自分の体や交際相手のことなどで悩んだ時は、インターネットもいけれど、是非この本を参考にしてみてください。本が難しい人は YouTube チャンネルをチェック！

『デリバリアルーム』 西尾維新

デリバリアルームとは、英語で分娩室という意味。

セーラー服を着た、中学生で妊娠した妊婦。妊娠中にも関わらず、DV夫から暴力を受ける妊婦。正しい性教育を受けなかったが故に、歪んだ信念のもと性行為を繰り返した妊婦。

様々な事情を抱えた妊婦たちによる、幸せで安全な出産をかけたゲームがここに開始！



絵本

- 『バムとケロのにちようび』 島田ゆか 文溪堂
- 『おともだちたべちゃった』 ハイディ・マッキノン 潮出出版
- 『となりのせきのますだくん』 武田美穂 ポプラ社
- 『てぶくろ』 うちだりさこ (訳) 福音社
- 『ころべばいいのに』 ヨシタケシンスケ ブロンズ社

小説

- 『ようこそ実力主義の教室へ 1~11』 衣笠彰梧 MF 文庫 J
- 『いなくなれ、群青』 (階段島シリーズ全巻) 河野裕 新潮文庫
- 『むかしむかしあるところに死体がありました』 青柳碧人 双葉社
- 『デリバリアルーム』 西尾維新 講談社
- 『法廷戯遊』 五十嵐律人 講談社
- 『この本を盗む者は』 深緑野分 KADOKAWA
- 『氷菓』 (古典部シリーズ) 米澤穂信 KADOKAWA
- 『愚者のエンドロール』 (古典部シリーズ) 米澤穂信 KADOKAWA

小説以外

- 『CHOICE』 シオリーヌ イースト・プレス
- 『桃太郎は盗人なのか』 倉持よつば 新日本出版
- 『鬼とはなにか』 戸矢学 河出書房新社



答え：今年の立春は2月3日